

進路かわら版

～信義に篤き友集う～ 第3号

福島県立石川高校進路指導部 TEL. 0247-26-1656 FAX. 0247-26-5918

1 3年生の進路活動が遂に本格化します

(1) 就職試験

3年生の就職試験の解禁日は、9月16日(日)です。ここ数日は放課後遅くまで残り、面接の練習に励む3年生の姿がみられます。近年は、日本の人口減少が顕著になり超売り手市場(受験倍率が下がり、受験生が有利という意味です。)と言われていますが、引き続き、人気企業には受験生が殺到し高い競争倍率になっています。自分が希望する企業への就職試験に合格し、内定を勝ち取るために、今からでもできる面接対策のポイントをまとめておきます。

① マナーや礼儀作法を完璧に!

進学試験の場合よりも厳しく評価されます。これまでに学校で学んだことを何度も確認して面接に臨みましょう。



② 第一印象が何よりも大切です。

- ・髪は事前に整えて、よく顔が見えるようにしよう。
- ・制服を模範的に着こなそう! 制服に汚れほつれ、しわはありませんか?
- ・ネクタイを短く加工していませんか?
- ・元気よく、積極的に面接に臨もう。緊張から出てしまうミスは笑顔と元気でカバーできます。企業は暗い人物よりもやはり明るい人物を好みます。

③ 想定される質問には全て答えられるように、「回答集」を準備しよう。

・面接では多くの質問をされます。もしかすると、学校では練習しなかった質問もあるかもしれません。その場合、練習で多くの質問に答えてきていれば、その中から、似たような答えを探し出してなんとか回答することができます。しかし準備が不十分なままだと、何も答えを思い付くことができず、答えることができないかもしれません。そのためにもたくさんの練習がやはり必要なのです。「アドリブ」だって十分な練習をした上のもので、不十分な準備だけのものでは明白に差がつくものです。しっかりと「回答集」を作り、答えをたくさん準備しておこう。

・面接の核は「志望理由」と「自己PR」です。なぜ貴社に入社したいのか? なぜ同じ業種や職種が他社にもあるのに貴社なのか? 相手を説得できるくらい言葉を尽くしましょう。また、高校生活で何を心得、どのように自分は成長できたのかを、具体的な事項を交えて紹介しよう。
・「最近のニュースや出来事」に関する質問には、政治的な内容やゴシップ(芸能ニュース)、事故事件は避けて答えよう。なるべく受験企業の業種に関するニュースや、少なくとも明るく、健全な話題に絞って答えよう。

☆ では、ここで質問です。周りの人(友達、先生、家族、ペットでも可)に答えてください。

- Q1 あなたは、なぜ弊社を志願したのですか?(1分程度で回答)
Q2 あなたが、高校生活で最もがんばったことは何ですか? 具体的な事例を交えて答えてください。(1~2分程度で回答)
Q3 あなたが、最近気になっているニュースや出来事があれば、理由を含めて答えてください。(1分程度で回答)

(2) 進学試験(主にAO入試、推薦入試)

進学希望者は、なぜ進学をするのでしょうか? その意味をしっかりと考えて後悔しない進路を選び取ろう。ここでは基本的に立ち返ってまとめていきます。

① 大学と短期大学と専門学校はそれぞれ学ぶ目的が違います!

大学	学術的な研究を行い、幅広い教養を身に付ける。
短期大学	幅広い教養を身につけ、職業や生活に役立つ力を育成する。
専門学校	就職に直結するような実践的、実務的な職業訓練を行う。

自分の進学目的に合致していますか? 進学した後に後悔しないように、もう一度しっかりと自分の進学希望先について考えよう。

② コスパも考えて進路を選ぼう!

高卒での就職と比べて、楽な印象がある進学ですが、極論を言えば、将来の進路を後回しにしている(一般にそのような考えをモラトリアムと言います。)とも考えられます。近い将来、必ず社会に出て働くこととなります。その際に、現在の自分が思い描いているような将来像(仕事と生活)が実現できるのかをできる限り客観的に評価することがとても大切です。

その場合、一つの指標になるのが対費用効果(コスパ)です。進学すれば学費は1年間で約100万円かかります。また進学に伴い実家を離れ一人暮らしをすれば、さらに1年間で100万円程度かかるのです(4年間一人暮らしで進学した場合800万円程度かかる概算)。進学をした場合と、高卒で就職する場合の対費用効果を比較検討する価値は十分にあるのではないのでしょうか。

③ AO入試と推薦入試でも、今後は学力試験を課されます。

AO入試や推薦入試ではこれまで、試験内容として、面接と小論文のみという学校が多く、学力試験（筆記試験）を行わないことが多いものでした。しかし、以前から指摘されてきた大学生の学力低下問題や、近年の高大接続改革もあり、しっかりと学力を検査した上で入学させる学校が増えてきています。もちろん、上級学校に進学した後は、さらに高いレベルでの勉強が待っているわけで、高校時代からしっかりと学力を身に付けておくことは進学するための重要な条件であることに変わりません。



④ 進学希望者へ

本校生徒の進学希望者のほぼ全員が校種を問わず、AO入試や推薦入試で受験します。面接や小論文の準備を十分に行い、試験に臨んでほしいと考えています。例えば、本校では最難関と位置づけられる国公立大学（近隣では福島大学や会津大学等）を希望する場合には、遅くとも2年生の秋頃から、準備を進めていく必要があります。多くの生徒が希望する私立校の指定校推薦の面接の準備であっても、試験の2か月前には、面接の「回答集」を作り始め、1か月前には、先生方をお願いして面接の練習を始めないと、十分な対策はできません。3年生は、カレンダーとにらめっこをして、いつから本格的な準備を始めるのか、しっかりとスケジュールを作成してください。

☆ では、最後に質問です。次の質問に答えてください。

- Q1 あなたは、なぜ本学を志願したのですか？（2分程度で回答）
- Q2 あなたが、高校生活で最もがんばったことは何ですか？具体的な事例を交えて答えてください。（1～2分程度で回答）
- Q3 あなたが、最近気になっているニュースや出来事があれば、理由を含めて答えてください。（1～2分程度で回答）

どうでしょうか？就職の場合と同じだって？そうです。面接の核となる部分是不変なのです。もう答えられるという人は、ぜひ就職を希望する友達を面接官役にして答えてみてください。もしかすると、「まだまだ甘い！」「具体性がない！」と突っ込まれるかもしれません。就職試験の方が一般的に早く始まるので、準備が早いんですね。周囲のアドバイスをしっかりと反映して、素晴らしい回答ができるように練習に励んでください。

2 積極的に様々な経験を積もう！

本校ではキャリア教育の一環として、2年生全員でのインターンシップ（3日間）や、コース選択制による「キャリアチャレンジ」が行われています。しかしこれらは、キャリア教育の一部分に過ぎません。キャリア教育とは、これから、みなさんが社会に進出する中で、実際に役に立つ、必要になる様々な力を育てていくことに他なりません。その中でも核となる力は「自ら考え、主体的に行動できる力」や、「周囲の人々と豊かなコミュニケーションを通して協働する力」、「困難な場面に遭遇した際に、その困難を突破できる力」等です。

これらの力は「主体的、対話的で深い学び」と表現されるいわゆるアクティブ・ラーニング型の授業や、授業以外でも校内外での様々な活動で身に付けられると考えられており、近年、教育界で積極的に取り入れられてきました。本校の場合では、1年生の「総合的な学習の時間」内で行っている地域課題探究活動や、石川町が行っている「高校生まちづくりリビングプロジェクト」が、本当の意味でのキャリア教育として、本校内外で大きく注目されています。このような取り組みに主体的に参加することで、将来必要となる様々な力が身に付くはずで、11月の石菜祭も、そう考えると、キャリア教育の1つになるのかもしれませんが。あらためて、石菜祭を成功させて、自分もしっかりと成長させたいですね。

3 将来を考えるために読んでおきたい図書は？

多くの本校生にとって、欠けているものの一つは読書です。量については本校の「朝読」の取り組みによってある程度確保できているようですが（個人差は大きいようです。）、問題は読書の「質」なのではないでしょうか？かわいい女の子のイラストが描いてあるようないわゆる「ラノベ」をいくら読んでも、あまり将来に役立つとは考えられません。自分にとって、将来を考えるきっかけとなるような、自己成長に貢献できるような本にぜひ出会って欲しいと願っています。個人的には、読書が現代の社会の矛盾や課題について考えられるような機会になれば最善であると思っています。

本校の図書館には、多くの良質な図書が配架されています。ぜひ手に取り読み漁ってください。一例を挙げておきます。

- この世でいちばん大事な「カネ」の話（西原 理恵子）
- 漫画 君たちはどう生きるか（吉野 源三郎）
- キャリア教育のウソ（児美川 孝一郎）
- がんばらない（鎌田 實）
- 子どもの貧困—日本の不公平を考える（阿部 彩）
- なぜ「大学は出ておきなさい」と言われるのか—キャリアにつながる学び方（浦坂 純子）
- 日本一やさしい「政治の教科書」できました。（木村 草太）